

## TPPってなに？ 私たちの暮らしはどうなるの？!



### TPPの学習会を開催しました

2013年12月4日(水)、摂津市コミュニティプラザにて、TPP(環太平洋連携協定)に関する学習会を開催しました。弁護士の杉島幸生さんに、TPPの背景と特徴、私たちの暮らしへの影響などについて解説していただきました。

#### TPPってなに？

#### TPPとは環太平洋連携協定のこと

2006年、自由貿易をすすめるよう4カ国(ユージランド、ブルネイ、シンガポール、チリ)で結ばれた経済連携協定(P4協定)があります。

今回のTPPは、アメリカ・オーストラリア・日本などの8カ国がP4協定をもとに、協定への参加と協定内容の改定を求めて交渉しています。

#### TPPでくらしはどうなる？!

#### 政府などの試算によれば

「国内の輸出産業の利益が上がり、経済効果が見込める(国内総生産GDPが10年間で2.7兆円増加する)」  
(経済産業省試算より)

「競合する商品が安い輸入品に置き換わる」  
(政府統一試算より)

「国産品が安い輸入品に圧迫され、食料自給率が下がる(カロリーベースで40%→27%になる)」(農林水産省試算より)

#### 日本が参加するかどうかは議論中

TPPへの参加は、国民のくらしと、日本の経済・産業のあり方を問う、重大な問題です。

全国の各生協でも、TPPは組合員のくらしに関わる重大な問題として、さまざまな議論がされています。



「食品などの安全基準(ルール)が統一され、日本国内の食品添加物や残留農薬基準が緩和される恐れがある(例えば遺伝子組み換えの表示を日本・オーストラリアでは義務付けているが、アメリカでは義務付けはされていません)」



#### よどがわ生協とTPP

よどがわ生協ではこれまで...

よどがわ生協は「安全で安心できる商品づくり」「日本の農業を守り発展させる取り組みを追求すること」を、「めざすこと」として確認し、次のような取り組みをすすめています。

#### 安全・安心な商品をお届けする取り組み

これまで「安全で安心な商品を食べたい」といった声に応えるために、食品添加物規制緩和反対(1983年)、食品衛生法改定や食品安全基本法制定(2002年)に取り組んできました。また、生協の取り組み

「安全で安心な商品をお届けする取り組み」  
「安全で安心な商品をお届けする取り組み」  
「安全で安心な商品をお届けする取り組み」

#### 食料自給率向上を求める取り組み

大阪府下の各生協や消費者団体などと共同し、「食料自給率の向上を求める署名」を組合員・地域の消費者に呼びかけるなどの取り組みをしました。また、産地・工場見学などを通して、後継者不足など生産地や生産者が抱える深刻な問題を学んだり、世界の食料事情や農業が果たす多面的機能の学習などもしています。

#### 2012年1月にTPPに関する要請書を提出

日本農業の再生や、食品の安全確保に悪影響を及ぼす可能性がある場合には交渉参加を見直すように首相に要請しました。

TPPが、私たちのくらしにどんな影響をおよぼすのかを考えあうために学習会を行いました。(次項へ)

